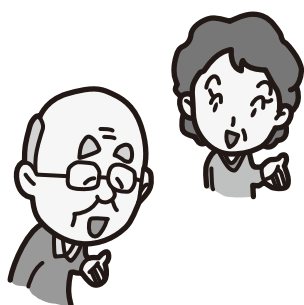


# 活動計画での取り組みの一例

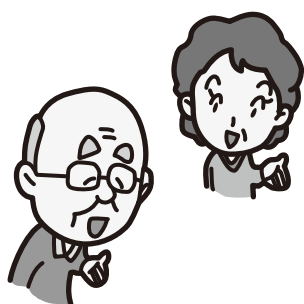


## 問題点

認知症の早期発見とその対応また地域としての見守りなど認知症への理解と知識が今後ますます必要となっている。

## 認知症サポーターを養成しよう！

認知症サポーター養成講座を開催し、オレンジリング普及活動を推進していきます。サポーターの中からキャラバンメイトを養成していきます。



## 問題点

リーダーシップを発揮していただける方が地域にいない。住民自治や地域の交流事業を進めていくためにもリーダー的存在の人材育成が必要。

## 福祉入門教室を開催し参加しよう！

地域での有望な人材の掘り起こしを図るために住民を対象とした福祉入門教室を開催します。



## 問題点

福智町は5世帯に1世帯が65歳以上のひとり暮らし。社会的に孤立した状態や孤独死などが現実としてある。

## 安心・安全な見守り支援ネットワークを地域につくろう！

初年度にモデル地区を設定し、その地域で住民を中心とした安心・安全ネットワークを取り組むための資料作成および実態調査、支援体制を構築しそのモデルを順次地域に拡大していきます。



## 問題点

突然の災害でどこに助けを求め連絡すればいいのかが分からない。また避難場所や避難経路が分からない。

## 地域防災マップを作成！

災害時要援護者避難支援プランの作成を基に、地域ごとの防災マップ、DIGの実施、避難場所や避難経路の確認を行い、情報提供の確立を行います。

